

環境に配慮した取り組み

ギフチョウの生息環境創出について

- NEXCO中日本の経営施策である「地域連携や環境・持続可能社会への貢献」の取り組みの一環として、地域の皆様とギフチョウの生息環境の創出に取り組んでいます。
- 東海北陸道 城端SAでは、平成12年の建設段階に、近隣に生息するギフチョウがSA内にも飛来するよう、ギフチョウの生息環境の創出を行いました。
- 創出方法は、雑木林の基になる樹木とギフチョウの餌となるヒメカンアオイのSA内への植栽です。
- 植栽から約10年が経過しヒメカンアオイの順調な生育が確認されたため、今年の4月10日に地元の城端小学校の生徒や、ギフチョウ里づくりの会などの関係者の方々約120名が参加して、SA内では初めての放蝶会を実施いたしました。
- 放たれた蝶は、小学生や昆虫愛好家の方々の手により、前年に採集された卵から蝶になるまで飼育されたギフチョウです。
- 放蝶会後のSA内では、飛んでいるギフチョウが確認されました。
- 引き続き関係者の方々のご協力を得ながら、城端SAでのギフチョウの生息環境の創出活動を進めます。



放蝶会の様子



放されるギフチョウ

- 当社は今後も引き続き、自然環境に配慮した道路(エコロード)づくりを進めながら、COP10を応援いたします。